

【施策評価調査】

施策名	2-2-5	認知症高齢者対策の推進		87	高齢者が明るく安心して生き生きとした老後を暮らすことができるようにするために 1. 子どもから高齢者、障害者も利用できる複合的な多目的施設の整備 2. 要支援要介護にならない予防策 3. 地域包括支援センターの有効活用 4. 高齢者の社会参加と学習機会の提供 5. 安定した生活支援 6. 地域協力の体制づくりを構築する 当施策は、6.の観点から徘徊高齢者を早期に発見できるよう地域の協力を得ながら見守る体制を確立していくことと介護者負担の軽減を図っていきます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当リーダー	社会福祉担当		
			赤羽 一夫		
環境変化	高齢化の進展とともに認知症高齢者も増加にあります。それに伴い、徘徊高齢者の家族の負担が重くなっています。				認知症高齢者とその家族に対する支援の充実に努めます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 徘徊高齢者探索端末購入補助申請者数(単位:人)	平成16年	計画	10人	15人	20人	25人	30人
	0人	実績	0人	0人	0人		
指標 : 介護者のつどい開催回数(単位:回)	平成18年	計画			3回	4回	5回
	1回	実績			1回		
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	100,000	100,000	100,000		
決算	0	0	0			

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか?(アウトカム)	
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)

施策事前評価 22年度の組立て

後期計画に向けた施策展開のビジョン			H22年度の狙い
自己評価	今後の方向性	認知症高齢者対策の推進は、「地域包括支援センターの創設」施策の中の包括的支援事業費で対応することから、当施策は廃止する。	
	廃止方向		
総合評価	総合評価		
	他の施策との関連で町のすべきことを整理しようとしていることを評価する。		